

# 新規形質を有するリンドウの有望系統

選定したリンドウ3系統は、耐暑性とスプレー型の草姿を持ち、十分な切り花本数と切り花形質を有している有望な系統です。

## 背景・目的

- 種苗会社との連携において耐暑性や新しい形質を持つリンドウの新系統について素材の提供があり、それらの系統の中から、本県の気象条件に適した有望3系統を選定しました。

## 成果の内容

- 「M1-19」：1番花が5月中旬に開花し、株あたりの切り花本数は11.7本と十分です。切り花長は50cm以上と長く、花段数も多いです。また、花色は濃い青色でスプレーの形状が強い系統です（表1、図1）
- 「M2-8」：1番花が6月初旬に開花し、株あたりの切り花本数は15.5本と全系統の中で最も多く、切り花長は58.1cmと長い系統です。また、花色は薄い青色でスプレーの形状が非常に強い特性を持ちます（表1、図2）。
- 「M2-16」：1番花の開花は5月19日で、株あたりの切り花本数は11.3本と十分であり、切り花長は59.9cmと長く、花段数も多い系統です。また、花色は薄い青色でスプレーの形状が強い特性を持ちます（表1、図2）。

表1 選定した有望3系統の切り花形質

系統名	開花日 <sup>2</sup> (月日)	収穫本数 <sup>3</sup> (本/株)	切り花長 (cm)	茎径 (mm)	花段数 (段)	着蕾数 (個)	花色	スプレー形状
M1-19 3W-⑧	5月18日	11.7±0.5 <sup>x</sup>	50.6±1.6	3.2±0.1	4.1±0.1	25.2±0.8	濃青	強い
M2-8 3W-2	6月1日	15.5±2.0	58.1±1.0	3.5±0.1	4.4±0.3	46.6±3.7	薄青	非常に強い
M2-16 5W-2-②	5月19日	11.3±0.5	59.9±1.5	4.2±0.2	4.1±0.2	37.3±2.1	薄青	強い

<sup>2</sup> 頂花が開き、2段目の蕾が開き始めた日

<sup>3</sup> 1株あたり15本に芽を整理し、3本を残枝とした場合の採花本数

<sup>x</sup> 平均値±標準誤差 (n = 3)



図1 M1-19 3W-⑧



図2 M2-8 3W-2



図3 M2-16 5W-2-②

## 成果の活用方法(又は期待される効果)

- 低標高地のリンドウ産地において耐暑性の特性を生かした産地化に活用できます。
- 普及対象地域・戸数 西諸県、西臼杵、東臼杵地域 3戸

## 留意点

- 新規形質を有するリンドウは、通常のリンドウと異なる形状のため、既存のリンドウの需要とは異なるターゲットを想定した生産・販売が必要です。

関連研究成果カード：2023年度前期 番号 8、関連事業名：中山間地における種苗安定供給を含めた野菜花きの産地育成・拡大技術確立（県単）

研究期間：2022～2024年度